

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 12月 28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100447		
法人名	社会福祉法人 広島光明学園		
事業所名	グループホーム高陽荘		
所在地	広島市安佐北区深川8丁目36-7 (電話) 082-841-0511		
自己評価作成日	令和3年12月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100447-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月20日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>自然に囲まれた生活の中で隣接施設との交流を持ちボランティアを含めた行事参加を積極的に行っている。コロナ禍の中で感染対策を徹底し、入居者様の機能低下を予防しつつ、お手伝いやレクリエーションを行い生活を大事にしている。排泄は入居者様の排泄リズムを観察、把握しトイレでの自立を目指してオムツ外しに取り組んでいる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は、法人が掲げる理念のもと、楽しく、仲良くサービスを行うよう取り組んでいる。現況ではコロナ禍で外出が出来ない為、利用者の機能低下の予防を考慮し長いベランダを活用しながら散歩をしている。職員に対しても、法人及び事業所は研修や資格取得の要望をしっかりとバックアップ（費用面も合わせ）している。当事業所に於いては、昨今は様々な災害が発生しており、災害対策に力を入れ、地域と共に話し合いを行いながら、ハザードマップを活用し、事業所が置かれている環境を位置や危険性を把握しながらしっかり対策を行っている。日々のサービスでは、利用者一人ひとりに対して、出来る限りニーズに答えられるよう、「安心で安全な支援」にチームで取り組んでいる。</p>

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を共有して管理者・職員は情報を周知し、入所者一人一人を理解しつつケア向上の実践につなげている。	事業所は、楽しく明るい職場を目指す中で、理念の意味合いを共有し、管理者と職員は同じように実践に繋げる取り組みがある。また異なる考えが有る場合は、会議等で理念を念頭に、意見交換をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	隣接する事業所と連携を取り合同で行事を行ったり地域住民と交流を持ち、地域の移動販売を利用しながら顔見知りになり交流をしている。	職員は地域密着型サービスの目的は把握しているが、コロナ禍の今利用者が直接付きあう事が難しい。例えば恒例の地域のとんど祭りには職員が参加し、その様子を利用者へ伝えたり、近隣の住民からは、季節毎に野菜を頂く等、地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域交流や介護教室の参加で情報を地域住民に向けて活かしている。コロナ禍で現在は地域交流や介護者教室への参加を行っていない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	定期的開催し、施設の状況を津会えながら家族様や地域の方の助言を参考にし、より良いサービスを旨として改善し向上に努め活かしている。	会議の開催が困難な中、止むを得ず書面会議に変更する事がある。会議は開催前に関係者から意見を求め、事業所は要望があれば、地域包括支援センターや地域の意見を検討し、サービスの向上に取り組んでいる。	家族代表は会議に出席しているが、現状ではこの検討内容が議事録として、その他の家族に届けられていない。今後の改善課題の情報共有のためにも、この会議録の送付についての対応が望まれる。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し情報交換を行いながら案内やお知らせなどを送付し協力関係を築くように取り組んでいる。	法人として常に市町とは連携している。事業所は、地域包括支援センターと連携を図り、事業所一階ルームを介護教室として場所提供するなど市町との協力関係を築いている。また法人事務局を通して連携を図り、実践者研修等にも出掛けている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修会で具体例を確認し、職員間で話し合い情報を共有している。委員会を設置し研修や勉強会で安心・安全な生活を送られるよう日々取り組んでいる。	身体拘束とその影響は、外部研修(キャリアパス)に参加、その後事業所で伝達を行い職員は理解している。支援の在り方についても車イスは移動手段と認識しており、拘束の3要件である、グレーゾーンにも気配りしながら拘束しない支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	入居者様の状態観察や見守りを行い精神的安定を行いつつ安全を確保している。研修で学んだことを職員に伝え、身体拘束・虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を活用で資料やパンフレットを職員間で勉強し知識を取り入れている。弁護士の資格を持つ後見人と連携し支援をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に当施設の趣旨を理解して頂き家族と話し、理解をして頂いて疑問や不安などを丁寧に伝えている。身体状況や日常生活においては詳細を得て施設対応やサービスについてご家族様・入居者様に説明し理解・納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時には必ずご家族様にお声をかけ話す機会を設けている。毎月の手紙と広報誌を掲載の許可を頂いて上で行事や日常生活の様子を報告し運営に反映させている。	職員は面会時常に意見を求めているが、家族からの意見は余りない。毎月報告書の中にも、意見を聞く努力をしている。コロナ禍に於いて、直接面会が出来ない為、ベランダ越しに家族と短い時間言葉を交わしている。今後も機会を設け取り組む姿勢がある。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員個々に意見を聞く機会を設けたりグループ毎、または全体で話し合いをし勉強会を行ったり意見を反映させている。</p>	<p>職員の研修参加や資格取得のための支援等、事業所は働き易い（スキルアップ）環境を構築している。職員からの要望が有れば業務改善に於いても、勤務のシフト変更や、支援の中で利用者のグループ分け（席替え）等、必要に応じ反映させる取り組みがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の希望休みの調整や体調などを考慮し、勤務時間や内容など無理なく働けるようお互いに協力し合いやりがいや個以上できるよう職場環境・強肩の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員一人一人のケアの実際を観察し、施設内の勉強会や外部の研修会などに参加し、助言をしながらトレーニングを行い向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修などに参加し同業者の方と意見交換し視野を広げサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>それまでの情報をよく知り、そのうえで情報を確認しながらご本人の様子を見て話をしご本人の言葉に出来ない要望も汲み取れるよう安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の要望や思いを聞きしっかりとコミュニケーションをとりながら不安を解消し安心できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>サービス利用開始をなぜ希望されたのかよく話を聞いてニーズを把握しそれに対応していけるように話し合い、医療機関とケアマネジャーと連携し適切な対応を考えながら日々対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は利用者様と向かい合って話を行い納得した生活が送られるようともに活動することにより信頼関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者様やご家族様の要望を聞き報告したうえで共に考えて活動できることは共に行い家族の支えがあることをご本人にお伝えしながら関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会や電話の取次ぎ、文通や交換日記などで直接会えなくても関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	<p>コロナ禍で外泊や外出が出来ない今、職員は近隣のスーパーマーケットに依頼し、買い物に出掛けられない利用者のために、週2回定期的に移動販売が訪れるようになった。職員は利用者が希望することを把握し支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>利用者同士の性格や相性を把握したり声かけやテーブル席でお手伝いやゲームなどを職員が関わり合いながら良好な関係が継続できるように努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族のご様子を医療機関や他事業所などと連携し相談や支援に努めている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者やご家族の話聞き、要望時はご本人の意向を把握しながら職員間で話し合いをし解決できるように検討している。</p>	<p>職員は日々の関わりの中で、積極的にコミュニケーションを図り、利用者の思いを引き出せるよう努めている。外出が自由に出来ない今、散歩の要望があれば、長いウッドデッキのベランダを歩いたり、床の掃除や食器洗いを職員と行い、希望の把握に努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>一人一人の生活歴やなじみの暮らし方を踏まえた上で一人一人のペースに合わせ経過を把握していくよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>利用者の日々の過ごし方を把握し職員で情報を共有しながら自分の残存能力を生かしながら現状の機能を維持できるよう把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の意見ややりたいことを基本に職員や看護師、医師と連携を取りながらご本人の現状に即した無理のない介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングは毎日行っている。本人、家族と担当者の意見を聞きながら、必要な関係者がカンファレンスを行い、現状に即した計画を半年に1度作成している。状態の変化がある場合は、評価、見直しを行い介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の記録に特記事項として記録し申し送り時や職員間の申し送りノートに記載し情報共有し変化時は職員間でカンファレンスを行って改善し実践とモニタリングでプランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本来ならば家族や多職種連携を取りながらサービスを行うがコロナ禍の中で施設内での出来ることを活用しながら充実した生活を送って頂けるよう取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍で他事業所や外出行事が難しいなかで少しでも気分が変われるように誕生日会や食事会を行い普段の生活と違う雰囲気を味わい楽しむことができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本来なら定期的に通院を行い変わった様子を主治医に伝えるがコロナ禍で外出が困難となり普段の様子をしっかりと観察し職員間で情報共有をしながら主治医へ利用者の様子を伝え適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>職員は利用者同行し、定期的に受診している。事業所のかかりつけ医（協力医）は、内科、整形外科、眼科等の診療を行い入院対応も出来る。訪問看護も毎週火曜日実施し、24時間オンコール対応で、薬剤師とも連携しながら適切に支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>毎週1回訪問される看護師に体調管理や気になることを相談している。急な体調不良や気になることを電話で状況を伝え受診などの指示を受け適切に受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>コロナ禍で病院への面会はできないが医療連携室や主治医に様子を聞き情報交換や相談に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>医療関係者や家族、利用者と連携して希望を確認し当施設で出来ることを説明しチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>利用開始時に法人の方針で看取りは行わない事を、家族に説明し了解を得ている。重度化した場合は家族の希望を確認し、かかりつけ医の指示のもと、他の医療及び施設等を紹介している。職員は予防に重点を置き、事業所の方針に沿った支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>入居者の日々の様子にいち早く気づき職員間で共有し対応の仕方や連絡方法などを勉強会などで対応できるよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>毎月の避難訓練で火災や土砂災害などの訓練を昼夜問わず他事業所と連携をとりながら訓練を行っている。</p>	<p>月1回定期的に避難訓練が行われている。地域との連携は法人が災害協定を交わし、協力体制を構築している。エリア的に東西に山が有り、位置、危険性は把握している。職員は年1回防災センターで研修を受けている。有事には地域住民に対して、受け入れ態勢もあり、備蓄は3日間確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各利用者に合わせた声かけや状態に合わせて信頼関係を作り言葉掛けや対応をしている。	法人内で、プライバシー保護（セクハラ・パワハラ・モラハラ等）の研修が行われている。職員は普段から接遇のチェックを行い、例えば名指しでのトイレ誘導や「ちょっと待つて」を言わないよう職員同士が注意し、人格を損なわない対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者の希望をよく聞きその希望を職員間で情報交換をしながら自己決定ができるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活のペースを保ちながら本人の様子を伺いながら希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	職員とともに入居者に好みを聞きながら選んで頂き楽しみのある生活が送られるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者一人一人の状態を見つつ、食器や形態を変えむせないようにトロミ剤を使用したり食べやすく利用者に合わせて提供し入居者自身で行って頂き残存能力を活かしている。	日常の食事は配食を利用している。誕生日にはケーキでお祝いし、食事環境（イスやテーブルの高さ）や、利用者同士が楽しく、食事が出来る様支援している。外食が出来ない今は、フレンチトーストやラーメンパーティーを行うなど、職員は工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分と食事の摂取量を毎日記録している。食事量の低下が続く時は栄養補助食品を提供し血糖値が高い方や水分制限のある方は過度な摂取にならないよう管理し支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>週1回の訪問で口腔ケアに努めている。毎食後の口腔衛生を促し洗面所へ誘導し義歯洗浄や自分で歯磨きを行って頂き必要であれば職員が仕上げを行っている。義歯は就寝前に洗浄剤を使用し消毒を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を活用し個々の排泄パターンを把握できるようにしている。安易に紙パンツを使用せずこまめにトイレ誘導を行うことで自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>職員は利用者の排泄パターンを共有し誘導の機会を把握している。また紙パンツから布パンツに変更する等、潜在能力を引き出す支援もある。便秘の予防としても、水分管理や排便時の姿勢や食事等にも気配りし、残存能力を活かした取り組みを行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>こまめな水分摂取とヨーグルトにきな粉を加えたり個々の排泄状況に応じてオリゴ糖を入れて対応したり1日2回の体操を取り入れ予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご自宅と同じようにゆったりとした空間で安全に配慮しながら入浴を楽しんで頂くよう心がけている。入浴を拒まれた時は無理にせず時間をずらしたり日を改めたりして個々に応じた入浴の支援している。</p>	<p>入浴は週2回、2ユニットが交代でグループ分けし、利用者の習慣や状態に合わせて行っている。入浴剤を使用したり、入浴後はローションを使い、保湿にも心掛けている。その他の入浴環境も冬場の室温管理に気配りを行いながら入浴を楽しめるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居者の意思や日々の体調に合わせて居室で過ごしたり臥床を促し自分のペースに合わせて安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師より処方された薬の必要性等を職員周知し投薬を行っている。医療関係者と連携を取り体調変化に留意し服薬の支援に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>自宅でされていた家事や趣味、聞きなれた音楽を聞聞きながら体を動かすことで役割や充実感を持ち気分転換などの支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症対策の為にベランダを散歩したりご家族とベランダやと扉を隔てての面会、隣接された園児の活動見学で交流を持ち支援している。</p>	<p>日常的には見晴らしの良いベランダに出て、時には隣接の保育園の運動会や、その練習を見ている。毎週来る移動販売で好きなお菓子を購入し、コーヒーを飲んだりして楽しんでいる。季節には近くの山にドライブや散歩しながら桜見物に出かけ、外出支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者の能力に応じてご家族の了承の上管理を自己管理を行っている。貴重品をご自身で管理して頂くことで意欲や責任を持って使えるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族との交換日記や電話の取次ぎを行いやり取りをすることで楽しみや安心感を持てるよう支援している。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>感染対策を徹底し換気や湿度、温度に調整を行っている。季節によって絵や飾り、作品物をともに作成し展示している。</p>	<p>利用者が日頃集まるリビングは、陽当たりが良い。壁には協力して作成した手工芸やカーブ関連の張り子が飾ってある。フロアー入口に、イルミネーションが点灯しているクリスマスツリーが飾られ、季節を感じさせる。またシーズン中は夜テレビで、カーブ観戦を楽しんだりしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングで過ごしたり季節に応じて飾りつけを職員とともに会話をしながら作成しつつ季節を感じ個人の作品を飾ることで達成感や会話のきっかけを作り工夫している。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室は本人の使い慣れた物を持ち込み動線の妨げにならないように配慮し落ち着いた生活が送られるよう工夫している。</p>	<p>室内はベット、高さの違うクローゼットが備え付けられ、しっかり収納が確保されている。家族が持参した写真や本人の手工芸品を飾った利用者もいる。中には昔から信仰している品を持ち込む人もおり、職員は利用者ひとり一人が、居心地よく暮らせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立歩行や歩行器を使用される方々に利用しやすいようにバリアフリーで付き添いや見守りを行い自立した生活が送れるよう工夫している。</p>	/	

V アウトカム項目(さくら) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念を共有し管理者・職員は情報を周知しサービスの提供を実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者様が地域行事に参加したりイベントを開催するなど入居者が積極的につながりを深め、地域の一因として日常的に交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	介護者教室をはじめ地域の方や入居者のご家族様と交流の場を設け認知症などに向けて活用している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族の要望や地域包括支援センター、地域の助言、現場の介護者の意見を出し合い、現状を分析と評価を行うことで個々にあったサービスの向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行事や入居者の方々の近況のわかる情報誌を作成しており、ご家族の方や地域の方々と協力関係を築くように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	入居者一人一人の個別ケアと拘束のないケアを行っている。職員間で拘束の勉強会で知識を深め、拘束のないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員間での意思と介助の質を統一し、入居者の状態をしっかりと申し送ることで虐待防止に努めている。また定期的な勉強会を開催し再認識し事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意をしながら防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員は、勉強会や研修を通して制度や知識の向上と習熟に努め、ご家族や入居者様の必要な支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族には当施設と他施設の違いをしっかりと説明し質問・疑問に答え、ご理解と納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員間や地域包括支援センター、訪問看護と連携を取り個別のケアを行っているが、カンファレンスや面会時にご家族の要望などを確認しご家族に事故防止や健康維持の観点からご理解をして頂きケアに取り入れ運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員間で毎月勉強会を行っており日々の状態の変化に対応すべく話し合ったりいろいろな提案・意見を反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員間でお互い協力しあいながら仕事・休憩と現場から離れてけじめをつけて環境、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修参加は無論、日常の業務の中で状況に応じてテーマや対応を常に職員間で勉強し知識を深めながらトレーニングするように心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との相互訪問を行ったり情報交換を行うことで他施設や他同業者との交流により、より良いサービスを提供し高揚させていく取組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様とたくさん話をしたり聞いたりしながら好きな事やしてみたいことを可能な限り叶えられるようにしながら信頼関係を築き関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面会時にはよくご家族と話をし不安やご要望を聞きご家族が安心できるように努力している。またお手紙などによりここでの生活の様子とご家族から了承を得た写真掲載の新聞を送り関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>常に入居者様の状態を確認しその時々で入庫に良いと思えるケアを職員間で話し合い統一したケアを行うように務めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>掃除や洗濯なども含め、入居者様とともに رفتりたり分担したりしながら信頼関係を持ちながら生活をし関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>毎月施設での生活の様子を手紙などでご家族様に報告したり変化や状態を細かく伝え、その都度家族連絡を行って情報を共有し関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>感染対策を行いながらご家族を含め、友人、知人とも気軽に面会できるよう支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションだけでなくお手伝いなどを一緒に入居者同士が関わるようにし入居者同士の人間関係が良好になるよう職員が見守りや会話をを行い関わり合い支えるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も情報を確認し、必要に応じて相談や助言をご家族様や関係機関に伝えられるよう情報を共有し支援に努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の様子や表情、会話等から本人の思いを感じ取れるよう心掛けている。また入所者様の希望や思いを聞き一緒に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やご本人様からこれまでの生活歴を聞き職員間で情報を共有するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の状態変化を観察し、変化時は職員間で話し合い現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人やご家族の意向を確認して入居者様にとって何が重要なのかを職員間で話し合い現状にあった介護計画を作成している。半年に1階見直しを行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケア、気づきや状態変化を個別に記入して情報を共有し、勉強会を行いながら介護系cafeの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	一人一人にあったサービスの提供を心掛け柔軟性を持って個々の希望に沿ったサービスができるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	コロナ禍の為ボランティアの方や地域の方と接することができなかったが感染対策を講じながら協働し生活が送られる要支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	毎月の受診時は職員が付き添い状態経過や生活の様子を伝え、医師からは観察や生活上の注意点等の指示を受けている。毎週訪問看護や訪問歯科の診療も受け適切に受けられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	入居者様の状態を職員間で共有できるように申し送りノートに記載している。日頃の状態を観察し報告や相談をし適切に看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コミュニケーションを図り情報を共有し協力医療機関と連携して相談しやすい環境作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用者様、ご家族様の意思を尊重し日々の変化を家族に説明をしている。施設の方針を説明したうえで入居者や家族の意向を職員間で把握し支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に勉強会を行い早期に対応出来るように医療と連携を図りながら知識向上に努め日々じっせんにょくを身につけている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に他事業と連携を図りながら避難訓練を行い職員が誰もができるように努めている。災害マニュアルの見直しや改善を行い備品の確認を行いながら適切な対応ができるよう地域との協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩という認識を持ち敬う声かけを心掛けている。馴れ馴れしい言葉使いにならないように十分留意し勉強会をしながら職員の向上に努めプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	一人一人の思いを聞き、意思や希望を把握しニーズに応え自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員は業務優先にならないように入居者目線で対応し一人一人の様子見ながら個々のペースで過ごして頂き希望に沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	好みを聞き、季節に合わせて身だしなみやおしゃれができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事を楽しみながら自分の使い慣れた食器を使っている。利用者の個々の能力を生かしながら食事前の準備や後片付けを職員とともにしている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人一人の食事形態を把握し美味しく食べて頂けるように食事量や水分量を記録し栄養不足などを懸念しながら体調管理に努め習慣に応じた支援をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>訪問歯科と連携し指導を受けながら毎食後に入居者様の義歯洗浄や歯磨きを促し自力で行えない方にはお手伝いをし生活な口腔状態を保つように行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の入居者の排泄リズムを把握し早めの声かけや誘導で自立した生活を送って頂ける支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表で排泄の間隔や状態を把握し水分補給や運動を取り入れている。またオリゴ糖も活用し自然に排泄ができるよう促し予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体調・精神状態を確認しながら一人一人ゆっくり入浴できるようにしている。入浴を拒まれた際は時間を置いたり日にちを変更して気分よく入浴できるよう個々に応じた支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中は活動を促しレクリエーシ ョンや運動を取り入れ質のよい 睡眠がとれるよう支援している。 また室温管理も行い安心して 睡眠がとれるように支援してい る。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>入居者が服用している薬をよく 理解し的確に服用出来るよう 名前、日付朝夕の声出しなが ら確認している。体調変化時 は訪問看護に相談し受診の上 職と情報を共有しながら症状 の変化の確認に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている。</p>	<p>今までの趣味が継続してできる ことや入居者一人一人の意欲 に合わせて自主的に取り組め るものを提供し充実した生活 を送って頂けるよう支援してい る。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支援 している。</p>	<p>コロナ禍で外出はほとんど できていない。定期受診で外 出をするときはマスクを着 用したり近辺を散歩し桜の木 をみて季節を感じて頂いた。 毎日ベランダを散歩し外気 浴をし気分転換を図れるよう 支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの 支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応じ て、お金を所持したり使える ように支援している。</p>	<p>感染症の時期でも館内にある 設備にて付き添いにてご本人 が購入をして頂いている。コ ロナ禍で外出が困難でご家 族と連携を取りながら職員が 要望の物を購入し支援してい る。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族、ご本人と相談して連携を取りながら携帯電話の管理使用をして頂いたり依頼時の手紙の投函、届いた手紙をご本人に手渡しをしやり取りができるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>感染対策を徹底し季節の応じて温度や湿度の確認と調整を行い自室と共用場との室温度も注意している。昼夜の明るさも注意し環境を整えている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有部分で職員と一緒に飾りを作りながら会話を行ったりすることでくつろげる場所を確保できるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者様の動線の妨げにならないよう収納している。使い慣れた物を持ち込み精神的安定の為に居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立歩行や歩行器を使用される方々に利用しやすいようにバリアフリーで付き添いや見守りを行い自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目(もみじ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム高陽荘

作成日 令和4年1月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議で話したことご家族に伝わっていない。	家族に話した内容の伝達。	毎月送付する手紙にて報告をする。	すでに報告済 1月7日ご家族送付
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。